

諸生  
復祿請願書

舊水滸復權士族  
祿請願總代

渡久依

透保田

鉄田

次宗徳

那仙雲

外二百六十二名

○ 舊水戸藩士家名再興人名

城代家老高七千石

鈴木石見守相續人

鈴木金六郎

家老高三千石

市川三左衛門全

市川八十吉

家老高八百石

大森惣左衛門全

大森苗之介

側用人高五百石

吉野英臣全

吉野留次郎

側用人高五百石

萩庄左衛門全

萩吉太郎

用人高三百石

佐野藤衛門全

佐野辰吉

小性頭高三百石

依田喜左衛門全

依田徳集

小性頭高三百石

大森主殿全

大森忠敬

徒士頭高三百石

渡邊伊衛門全

渡邊鉄次郎

町奉行高三百石

富田理介全

富田張次郎

町奉行高三百石

小笠原五兵衛全

小笠原鋪太郎

目附高三百石

萩井之介全

萩金吉

寄合指引高三百石

小性頭取高三百石

大番頭高七百石

使番高三百石

寄合指引高二百五十石

大番頭高五百石

先手物頭高二百五十石

目附高二百石

目附高二百石

先手物頭高二百五十石

目附高二百石

目附高二百石

川人高二百五十石

大井助右衛門相續人

大井直次郎

横山兵藏全

横山益次郎

松平左近事

松平源之允

川方竹之助相續人

川方春一

野澤儀右衛門全

野澤勝立

額田久兵衛全

額田了キ

兒玉國右衛門全

兒玉孫之允

市川市平全

市川利明

鈴木謙之介全

鈴木孝之介

松田平左衛門全

松田ソノ

大嶺右衛門全

大嶺タカ

小川喜右衛門全

小川金三郎

戸祭久之允全

戸祭禮之允

勘定奉行高百五十石

目附高二百石

與粘筆頭取高百五十石

先手物頭高百五十石

小十人目附組頭高百五十石

大番高百二十五石

中奥御番高百七十五石

小十人目附組頭高百二十五石

小性頭取高百二十五石

大番高百二十五石

小總戸高百二十五石

大番高百二十五石

邊渡官之邊村新入

輕部熊太郎全

鳴海何右衛門全

駒井兵左衛門全

佐野孫次郎全

磯野長平全

小野瀧孫藏全

片岡雄藏全

榎原留三郎全

加藤係三郎全

野村喜左衛門全

谷田部八助全

佐々木雲八郎全

邊渡官之邊村新入

輕部辰三郎

鳴海清知

駒井現三郎

佐野ウタ

磯野惠之介

小野瀧矢之助

片岡ミ子

榎原三郎右衛門

加藤伊之介

野村トノ

谷田部ヤシ

佐々木鏡藏

新番高百二十五石

佐藤萬石衛門相續人

佐藤萬吉

郡奉行高百十石

小室善兵衛全

小室太郎作

小十人目付組頭高百十石

本郷金石衛門全

本郷徳之介

中興小性高百石

藤咲小石衛門全

藤咲連

大番高百石

岡本勇四郎全

岡本子之吉

奥祐筆高百石

岡見彦五郎全

岡見勘次郎

小納戸高百石

小幡又藏全

小幡夕ヶ

祐筆高百拾石

加岡祐介全

加岡シマ

小納戸高百石

横山九郎石衛門全

横山萬次郎

祐筆頭取高百石

高倉平三郎全

高倉子カ

大番高十五石五人扶持

鹿野與市全

鹿野部次郎

殿奉行高十石三人扶持

柏原壯右衛門全

柏原曜之介

大番高十五石五六扶持

蔭山又十郎全

蔭山五郎兵衛

徒士高十石三人扶持

金子 静 相續人

金子 静 郎

土藏番高十石三人扶持

金子久三郎全

金子 猪 藏

徒士高十石三人扶持

川上 有 明

小普請五人扶持

立花源四郎

徒士高十石三人扶持

高田秀次郎相續人

高田長次郎

徒士高十石三人扶持

高田秀三郎全

高田 甚 作

徒士高十石三人扶持

高久彦三郎全

高久 重 次

吟味役高十五石五人扶持

根本清衛門全

根本 マ ッ

吟味役高百石

中川彦四郎全

中川 忠 平

馬廻高十五石四人扶持

中山 善 作全

中山 萬 太郎

馬廻高十七石五斗五人扶持

名越大八郎全

名越 寅 吉

代官所町方中役高七十五石

生井秀三郎全

生井 ヒ サ

徒士日附高十五石四人扶持

上 彦四郎全

上 卯之吉

小十人上坐表醫士五人扶持

久保田宗民相續人

久保田宗仙

天游高十五石五人扶持

安松元衛門全

安松ヤエ

新番高十石三人扶持

松村榮次郎全

松村八十五郎

小十人上坐高百二十五石

前島淳徳全

前島盛徳

小普請組五人扶持

藤田友也

小十人高拾石三人扶持

照沼泰助相續人

照沼熊吉

矢倉奉行高十五石五人扶持

秋山長太郎全

秋山松太郎

徒目付高十五石四人扶持

相澤秀五郎全

相澤コツダ

馬廻高百石

根本省吾全

根本ハル

小性頭取高百石

村松彦六全

村松得四郎

小總戸高百石

松葉伊右衛門全

松葉末吉

奥諸家贈取高百石

青木又四郎全

青木流之允

大番高百石

齋藤隆之介全

齋藤徳之允

大番高百石

大番高百石

徒日附高百石

金奉行高百石

中臈高百石

土改番十石三人扶持

徒日附十五石四人扶持

馬廻十石四人扶持

結單十五石五扶持

徒士十石三人扶持

徒士十石三人扶持

馬廻十石四人扶持

徒士高十石三人扶持

齋藤新六郎相續人

佐々八次郎全

磯野源四郎全

齋田三左衛門全

生駒誠三郎全

堀口萬吉全

友部德之介全

額田藤四郎全

尾羽牛藏全

大久保貞藏全

岡見市藏全

大森金太郎全

尾羽權次郎全

齋藤新之介

佐々進之允

磯野イッ

齋田源之介

生駒綱五郎

堀口萬次郎

友部徳次郎

額田キヨ

尾羽ナカ

大久保象義

岡見ミチ

大森タマ

尾羽クワ



徒士高十石三人扶持

小野瀬壯介

徒目附高十五石四人扶持

大久保久八郎相續人

大久保大量

徒士高十石三人扶持

大關旗藏

徒目附高十五石四人扶持

大嶺 雲 八相續人

大嶺 マサ

徒士高十石三人扶持

渡邊吉次郎全

渡邊 定見

徒士高十石三人扶持

綿引隆三郎全

綿引 幸光

小十人高十石三人扶持

朝比奈千次郎全

朝比奈 熊藏

徒目付高十五石四人扶持

坂田 三 八全

坂田 任藏

中奥番高十五石五人扶持

佐藤敬之進全

佐藤 シツ

小普請五人扶持

佐々木 正宣

英勝寺付奥番高十石三人扶持

菊池 太衛門相續人

菊池 謙次郎

馬廻高十石四人扶持

宮田 常之介全

宮田 作之介

徒士高十石三人扶持

志水陸之介全

志水 日出男

小十人目附組頭高十五石五人扶持

森 秀之介相續人

森 雄之介

大番高十五石五人扶持

瀬尾彌一右衛門全

瀬尾 菊松

英勝寺付代官高十五石四人扶持

鈴木彌太夫全

鈴木 留吉

新番高十五石三人扶持

助川次右衛門全

助川 フサ

徒目付高十五石四人扶持

鈴木 任藏全

鈴木 己之吉

小納戸高十五石五人扶持

鈴木定五郎全

鈴木 幸次郎

小普請五人扶持

鈴木運之助全

鈴木 秋之介

川部屋務留付列高七石三人扶持

飯村 庄藏全

飯村 辰之介

郡務方留付列高七石三人扶持

市毛 佐一衛門相續人

井坂 謙次

留付列合圖役高七石三人扶持

市毛 佐一衛門相續人

市毛 笑雄

留付列合圖役高七石三人扶持

市毛 久左衛門全

市毛 常太郎

郡務方文庫役列高十石三人扶持

一澤 千藏全

一澤 新藏

小普請組四人扶持

橋本 小三郎全

橋本 テツ

小納戸格

濱野 茂右衛門相續人

濱野 覺太郎

文庫役列高七石五人扶持

富田 太之衛門全

富田 與四郎

合圖役留付列高七石三人扶持

遠西 清十郎全

遠西 三藏

合圖役留付列高七石三人扶持

飛田 政五郎全

飛田 鐵太郎

留付列町方務高七石三人扶持

大場 幸之介全

大場 倉太郎

合圖役高七石三人扶持

小川 幸右衛門全

小川 清之助

留附列高七石三人扶持

大曾 根理七郎全

大曾 根ヨシ

合圖役高七石三人扶持

綿引 久衛門全

綿引 松之介

郡務留付列高七石三人扶持

和田 銀平全

和田 伊藤太

合圖役高七石三人扶持

川 又助三

合圖役高七石三人扶持

川 又佐平全

川 又寅太郎

郡務小十人列高十石三人扶持

金澤 康之介全

金澤 平之助

町方務留付列高七石三人扶持

田山 金平全

田山 八ル

合圖役高七石三人扶持

武石兵四郎

合圖役高七石三人扶持

長久保源五左衛門相續人

長久保順之助

系築方中間頭列高七石三人扶持

中川亥之助全

中川初男

町方務留付列高七石三人扶持

打越彦一郎全

打越辰之助

合圖役高七石三人扶持

矢島小次郎

合圖役高七石三人扶持

小澤清次相續人

小澤伊三郎

合圖役高七石三人扶持

後藤太吉全

後藤秀太郎

合圖役高七石三人扶持

後藤善次

郡務中間頭列高七石三人扶持

後藤小平太相續人

後藤三平

全留付列高七石三人扶持

安藏訖介全

安藏米太郎

與力高五十石

櫻井又三郎全

櫻井宗平

合圖役高七石三人扶持

齊藤源殿全

齊藤正成

合圖役高七石三人扶持

菊地勇次郎全

菊地貞五郎

合圖役高七石三人扶持

菊地左太郎

合圖役高七石三人扶持

木内平一郎相續人

木内常三郎

合圖役高七石三人扶持

皆川誠藏

合圖役高七石三人扶持

宮崎彌助相續人

宮崎龜吉

日付方務留付列高七石三人扶持

庄司清一郎全

庄司キン

郡務方徒士列高十石三人扶持

白石要介全

白石留五郎

合圖役高七石三人扶持

庄司兵五郎全

庄司辰次郎

與力高五十石

島田秀太郎全

島田甚之助

合圖役高七石三人扶持

廣原竹次郎

徒士

須田源之允全

須田古真

外百十四名

謹テ奉數願候自分等ハ實ニ明治維新國事多難ノ時ニ方々一  
措ク能ハス皇國ノ爲メ大ニ畫策スル所アラントセシモ如何セン智略  
足ラス誠見遠カラズ遂ニ國事犯ノ罪跡ニ陷リ家名斷絶ノ處分ヲ彼リ  
タルモノ及ヒ其遺族ニ有之候而ノ自分等ハ曾ニ除族收縁ノ處分ヲ蒙  
リタルノミナラス傳家ノ財產ハ勿論家屋敷田圃ニ至ルマテ皆悉ク沒  
收セラル、ノ悲運ニ遭遇シ之カ爲ノ生活ノ途全ク絶ヒ所謂天下ノ窮  
民トナリ己ムヲ得ス姻戚ニ寄食シ舊故ニ托生シ繼ニ一縷ノ壽命ヲ維  
キ來リタルモノ玆ニ廿有余年其間父子南北ニ流浪シ兄弟東西ニ離散  
シ各々皆天ニ歸リ地ニ跼シ日夜血涙ニ咽ビ居タル其慘狀窮態實ニ筆  
紙ノ能ク盡スヘキ所ニアラズ今ニシテ之ヲ思フモ慄然トシテ肌ニ  
粟ヲ生ズル次第ニ有之候然ルニ明治廿二年憲法發布ノ大典ニ際シ全  
年勅令第十二號ノ大赦令ニヨリ我等二百六十余名左ノ恩典ニ浴シタ  
リ

維新ノ際反逆主謀ノ科ニ依リ家名斷絶ニ處セラレタル處今般家名  
再興被差許

此ニ於テ我等一同蘇生ノ思サナシ深ク

天恩ノ優渥ナルニ感泣罷在候

我等業己ニ右ノ如ク大赦ノ恩典ニ浴シ其罪跡消滅致候以上ハ族籍ニ  
伴フ所ノ祿乃チ金祿公債證書ヲモ御下附相成ルハ是レ固ヨリ然ルヘ  
キ儀ト被存候依テ其要旨左ニ開陳仕候

抑モ大赦ノ恩典ニ浴シタルモノハ如何ナル罪跡有之候モノニテモ歴  
史上其痕跡ヲ貽スモノニ非ラサルハ固ヨリ我等ノ喋々サ俟タザル所  
ニシテ殊ニ優渥ナル天恩ノ効果ヲシテ愈昌大ナラシムルハ單リ我等  
ノ切望スル所ナルノミナラス當局ノ有司モ亦其責務ニ任セラルベキ  
ハ當然ノ義ト被存候而シテ其効果ヲ昌大完備ナラシムルノ途ハ速ニ  
金祿公債證書御下附有之ノ外他ニ至當ノ良策無之カト存候

夫レ金祿公債證書ナルハ素ト米祿ト其性質ヲ同フスルモノナリ唯明治九年祿制ノ變更ニ因リ僅ニ其名稱ヲ異ニシタルニ過ギス面シテ族ト祿トハ元來相伴フテ又分離ス可カラサルモノニ有之其密接ノ關係アルハ猶從ノ主ニ隨フカ如ク影ノ形ニ伴フガ如シ然ルニ維新ノ際家名斷絶ノ處分ハ有之候モ家祿等ニ至テハ別ニ何等ノ御達令モ無之自然沒收セラレタルモノニ御座候面シテ今ヤ其主タリ形タル罪跡消滅致シ候上ハ其從タリ影タル家祿ヲモ復セラレヘキハ今更申ス迄モ無之義ト存候然ルニ或ハ説ヲ作スモノアリ曰ク若シ我等ノ請願ヲ認許セバ全國無數ノ復族者ニ悉ク公債ヲ附與スルニ至ルヘク是レ政府ニ於テ實際容易ノ事ニアラスト然レモ明治二十二年勅令第十二號大赦ノ恩典ニ基キ復族ノ

天恩ヲ蒙リタルモノハ僅ニ全國八百余名ニ過キス如斯儻少ノ人員ニ對シ公債ヲ附與スルモ是カ爲メ我國ノ財政上ニ影響ヲ及ホス事ナキ



ハ論スルヲ待タス從テ政府ノ事業ヲ躊躇セシムルト云フガ如キハ眞  
ニ杞人ノ憂ニ同シキ者ト存候 何願スレバ明治十年西南ノ亂ニ興シ  
タル國事犯者ハ明治九年祿制變更後ニアリタルヲ以テ收祿ノ處分ヲ  
受ケス佐賀ノ亂ハ同シク七年ニシテ公債證書發行以前ナルヲ以テ除  
族ノ上收祿ノ處分ヲ被リタルカ我々等ト共ニ明治廿二年大赦令ノ恩  
典ニ浴ノ復族ノ幸運ヲ得タリト雖モ米々復祿ノ恩典ニ與ラス此ヲ以  
テ佐賀外四縣ノ國事犯者ハ第四議會ニ向テ我々ト同様金祿公債證書  
下附ノ請願ヲ提出シタルニ第六議會ニ於テ貴衆兩院ノ協贊ヲ經既ニ下  
附セララル、ニ至ル噫嘻等シク同時ニ大赦復族セラレタル國事犯者ニ  
ノ彼レハ既ニ復祿ノ幸域ニ踴躍シ此レハ尙ホ失望ノ窮途ニ彷徨スル  
ト我々等ノ最モ遺憾トナス所ナルノミナラス彼レニ厚ク此レニ薄キ  
カ如キハ誠ニ一視同仁ナル聖明ノ美ヲ汚損スルノ欠點ナルナキヤト  
奉恐察候今我々等ノ請願ヲシテ許容セラル、トスルニ其金額十五萬

則ニ過ギス之レカ爲メ毎年國庫ヨリ支出セラル可キ利子ハ僅ニ七千五百圓内外ナリトス如斯些少ノ金額ヲ以テ大救ノ優渥ナル

天恩ヲ完フセシムルコトヲ得バ其利害得失固ヨリ多言ヲ要セスシテ明白ナル義ト奉存候

特ニ大救ヲ蒙リタル士族ノ縁高及其舊事情等ノ如キ皆懸々トシテ明白ナルモノ又敢テ其查究ニ苦ムノ筈ナク且ツヤ我々等ノ請願ノ如キハ第四議會以來ニ委員會ノ探擇スル所トナリ第六議會ニ至テハ既ニ日程ニマテ上リタルニ第五第六ノ兩議會トモ空シク解散ノ不幸ニ遇ヒ數回ノ請願悉ク水泡ニ歸シ而ニ我々等ノ痛嘆ニ勝ハサル所ナリ然レモ天下ノ公論本請願ノ至理至當ナルニ同意ヲ表ソツ、アルハ第六議會貴衆兩院ニ於ケル本請願委員會ノ趨勢ニ徴スルモ亦明々瞭々ノ事ニ有之候

事情既ニ如斯極旨亦如斯義ニ候ヘバ更ニ本請願ヲ提出シ偏ニ許容ヲ

新ル所ニ御座候仰キ願クハ我々等ノ衷情ヲ憫察シ復祿給與ノ途ヲ洞  
開セラレンコトヲ  
右奉請願候也

明治二十八年一月

舊水戸藩士族復祿請願人

依 田 徳 雲

外貳百六十四名